

議 事 録

1. 日 時：平成22年3月9日（火） 9:30～12:20

2. 場 所：日本応用地質学会 事務局会議室

3. 出席者：(アンダーラインは欠席)

大塚委員長，長田副委員長，阪元幹事，天野委員，江口委員，大野委員，小野田委員，笠委員，品川委員，武田委員，中尾委員，中曽根委員，濱田委員，オザバー：向山会員(応用地形学研究小委員会(第三期)委員長)

4. 討議資料

平成21年度第5回研究企画委員会議事録
(案) (21研企 資)

応用地形学研究小委員会(第三期)活動報告 / 活動延長趣意
書 (21研企 資 -1)

岩盤分類再評価研究小委員会(第二期) 第1回編集・出版WG、第1回著作権WG配付資料、議事録
(案) . . (21研企 資 -2)

平成21年度第5回理事会資料
. (21研企 資 -1)

平成21年度第5回事業企画委員会議事録
(案) (21研企 資 -2)

学会設立50周年行事拡大特別委員会議事メモ / 「応用地質学のあゆみ」原稿(未定
稿) (21研企 資)

「廃棄物処分における地質環境調査・解析手法に関する研究小委員会」委員公募案内原
稿 (21研企 資)

研究企画委員会委員会運営規程
(案) (21研企 資)

総会資料(案)
. (21研企 資)

5. 議 事

5 - 1 . 前回議事録の確認

案のとおり承認した。

5 - 2 . 研究小委員会活動報告

(1) 応用地形学研究小委員会(第三期) 中曽根委員

【報告事項】

・第11回委員会(平成22年2月17日開催) の内容についての報告。

・委員会の活動成果について、来年度の研究発表会で公表することを計画している。

- ・現委員会のテーマについて検討を進めるために、委員会活動を1年間延長することとしたい。
- ・本委員会に引き続く第四期委員会の立ち上げについても議論中。

【審議結果】

- ・委員会活動の1年間延長について承認。次回総務委員会、理事会に報告することとする。
- ・次期委員会を立ち上げる場合の活動内容については、学会法人化とも関わる活動・成果品の事業企画化等も視野に入れつつ議論して欲しい。

(2) 岩盤分類再評価研究小委員会(第二期)・・・阪元幹事代理報告

【報告事項】

- ・第1回編集・出版WG(平成22年3月3日開催)、および、第1回著作権WG(平成22年1月25日)の内容についての報告。
- ・出版に関する課題に対処するための実務作業的な2つのWGを立ち上げ、取り組みを開始した。

(3) 応用地質学における地下水問題研究小委員会(第二期)・・・長田副委員長

【報告事項】

- ・委員会の今後の活動に関して、本委員会を継続的に発展させた第三期委員会を立ち上げるかどうか3月15日に打合せを行う予定。立ち上げることとなった場合は、趣意書を作成して提出する。

【意見等】

- ・第三期委員会を立ち上げる場合は、テーマに工夫が必要である。

5 - 3 . 常置委員会・理事会報告

(1) 理事会報告・・・大塚委員長

【報告事項】

- ・教育関係の新規常置委員会の立ち上げに伴い、研究企画委員会の担当事項から「教育に関する事項」は除外されることとなったが、「啓蒙に関する事項」はそのまま残すこととなった。

- ・平成22年度研究発表会において、トピックセッション「災害廃棄物の防災と環境」が設けられることとなった。

(2) 事業企画委員会・・・阪元幹事代理報告

【報告事項】

- ・平成22年度研究発表会におけるトピックセッションについては、理事会報告どおり。
- ・来年度6月の現場研修会の準備状況についての報告(テーマ、日時、行程等)。

【意見等】

- ・平成22年度秋の講習会の内容が応用地質学における地下水問題研究小委員会WG2の成果によるものとされている点について、研究小委員会としては、活動成果の仕上がり具合を見てから判断するということとしており、現時点で担当できるかどうか未定の状態。長田副委員長が中尾委員に確認する。

5 - 4 . 学会設立50周年記念出版物について

- ・内容の構成を組み替えることとなり、今後、新たな方針で作業が継続されることとなった。
- ・「応用地質学のあゆみ」について、小野田委員作成の原稿を元に、学会発足後のあゆみ部分を、50周年記念行事関係で研究企画委員会がこれまでに作成した資料を集約する形で一度幹事がまとめてみることとする。その結果を踏まえ、最終的なとりまとめ方針を議論する。
- ・出版物作成に対する研究企画委員会からの協力者については、委員長が人選する。

5 - 5 . 新規研究小委員会の設立について

【報告事項】

- ・前回委員会で承認した新規研究小委員会の設立に関して、理事会に説明し、2, 3の指摘事項があったものの、設立に向けて委員公募を行うこととなった。
- ・理事会からの意見を踏まえ、委員会名を「廃棄物処分における地質環境調査・解析手法に関する研究小委員会」とし、委員公募会告を会誌4月号に掲載することで作業を進めている。

【審議結果】

- ・会誌掲載委員公募会告文、学会ホームページ掲載予定の設立趣意書について、文言に対する意見が出され、一部修正および削除を行った。会告文については、校正の段階で事務局に修正を依頼することとした。

5 - 6 . 研究企画委員会運営規程(案)について

- ・幹事作成の案の内容について確認した。その結果、以下を修正して、次回総務委員会に報告することとした。
- ・内規に関する記述は削除。
- ・(業務)第2条に、「(2)学会の啓発活動に関する事項」を追加する。
- ・(案)の第11条までとし、それ以降の条項はナシとする。

5 - 7 . 総会資料(案)について

- ・幹事作成の案の内容について確認した。
- ・文言について、一部修正、削除を行うこととした。
- ・まだ原稿が来ていない研究小委員会に対して、至急作成を依頼することとした。
- ・平成22年度事業計画については、新設予定の研究小委員会についても作成を依頼することとした。

5 - 8 . その他

- ・次回委員会開催日は、平成22年4月22日(木)15:00より学会事務局にて開催する。

以 上